Trinity

キズナエピソード\_大鳥蒼\_04

------------------------------------------

//ADV形式開始

//背景:蒼の自室

［蒼］

「感情に流されてあんな事をしてしまうとは……。

これでは母と一緒じゃないか、情けない……」

［蒼］

「……とびおとのデート練習、

断ってしまったな……」

［蒼］

「オレから頼んだのに、

急に断ってとびおは許してくれるだろうか……」

［蒼］

「…………」

［丹］

「蒼？　……蒼、どうしたの？」

［蒼］

「ん……丹か。

なんでオレの部屋にいるんだ？」

［丹］

「ドアが開いてたから気になって……。

声をかけても部屋に入っても気付かないなんて、

なにかあったの？」

［蒼］

「ああ……」

［丹］

「……私で良かったら、相談に乗るわ」

［蒼］

「……とびおとデートの練習をしているのは

前に話したよな？」

［丹］

「ええ」

［蒼］

「神社で祭りをやってた日に、

とびおがオレの事を想って、

行く場所を考えてくれたんだ」

［蒼］

「その時、オレを大切に想ってくれてた事が嬉しくて……

とびおに対して、

その……胸の高鳴り……のようなものを感じたんだ」

［蒼］

「そのまま雰囲気に流され、

神社の境内でキスをしてしまった……」

［蒼］

「男に対してこんな気持ちを抱くなんて、

オレはどうかしていた……」

［丹］

「よかった……」

［蒼］

「……なんで嬉しそうなんだ？

オレがこんなに悩んでるのに」

［丹］

「違うのよ。悩みは一緒に解決したいわ。

私はね、蒼が男性を好きになってくれた事が嬉しいの」

［蒼］

「やめてくれ！　気持ち悪い……」

［丹］

「……ずっとね、蒼に謝りたかった事があるの」

［蒼］

「急になんだ……？」

［丹］

「蒼が自分の中の女性を気持ち悪いと感じるのは、

私やお母さんのせいよね？」

［蒼］

「…………」

［丹］

「男性に対してだらしない私達を見て、

男性に頼らない強い人間になろうとしてる」

［丹］

「だから男性が居ないと成り立たない

自分の中の女性的な部分を嫌うのよね……。

本当にごめんなさい……」

［蒼］

「……丹は関係ない」

［丹］

「……ありがとう。

でも、きっと原因の一端だと思うの」

［丹］

「だから、蒼が男性を好きになってくれて嬉しいって思うわ

蒼には女性としても人間としても、

幸せになってほしいと想っていたから」

［丹］

「……本当は男とか女とか関係ないわね」

［丹］

「自分のことを幸せにしてくれる人を

幸せにしたいって思えるような、

そんな恋が出来るなら……」

［丹］

「性別を理由に臆病になるのはもったいないわ」

［丹］

「とびおくんは、蒼を大切に想ってくれるんでしょう？

きっと、お互いを幸せにする恋ができると思うの……」

［蒼］

「……ありがとう。

丹の言っていることはわかる……。

だが、オレの中で答えが出ないんだ……」

［丹］

「蒼……」

［蒼］

「……少し、一人にしてくれないか」

［丹］

「……わかったわ。

でも、相談相手が欲しくなったらいつでも言ってね。

待ってるから……」

［蒼］

「うん……」

//ADV形式終了

//4話END